

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年6月4日（水）

2 確認箇所

- ・ Eタンクエリア（図1）
- ・ H2タンクエリア（図1）

3 確認項目

- (1) フランジ型タンクからのスラッジ回収作業の状況
- (2) H2タンクエリアの状況

4 確認結果の概要

(1) フランジ型タンクからのスラッジ回収作業の状況

Eタンクエリアでは、フランジ型タンクの解体作業が進められており、これまでに全49基中48基の解体が完了している。残る1基のD1タンク（写真1）の底部残水（RO濃縮水）には、アルファ線放出核種が含まれており、底部残水の漏えいリスク低減のため、タンク内のスラッジ等の回収後に、タンク内壁を除染し、解体を行う計画となっている。

今回は、令和7年1月9日に開始されたスラッジ回収作業の状況を確認した。（前回確認日：[令和7年3月14日](#)）

- ・タンク内には、作業員が足場として使用する板やゴムマットが設置されていた。また、スラッジ回収用のノズル及びホースも設置されていた。（写真2）
- ・スラッジはポリエチレン製容器に回収され、その容器は金属製コンテナに収納されていた。（写真3）
- ・当該タンクエリア内には、スラッジを収容した金属製コンテナを積載したトラックが駐車しており、固体廃棄物貯蔵庫への移送に向けた準備が進められていた。（写真4）
- ・スラッジ回収用のバキュームポンプが設置されているハウス内はR α ゾーンに指定されており、空气中放射性物質濃度の低減を目的として、局所排風機が設置されていた。（写真5）
- ・タンク近くに設置されたコンテナハウス内には、タンク内に設置されたカメラの映像を確認するためのモニターやハウス内の空气中放射性物質濃度を監視するダストモニタが設置されていた。
- ・確認した範囲では、タンク及び移送配管からの漏えい等の異常は認められなかった。

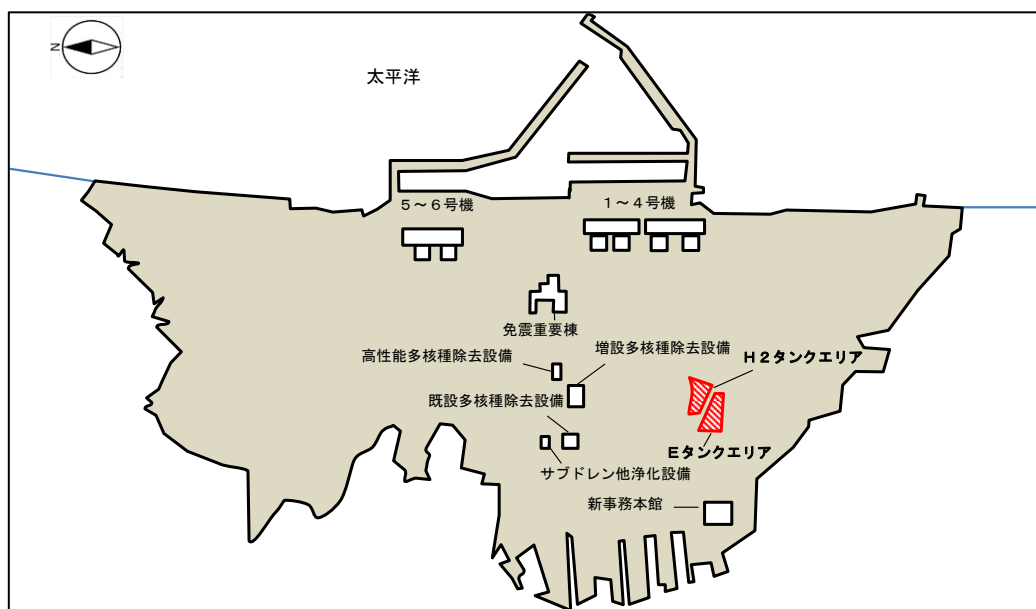
(2) H2タンクエリアの状況

東京電力から以下の報告があったことから、H2タンクエリアの状況を確認した。(写真6)

【H2タンクエリアB3タンク水位計の故障について(5月12日)】

当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤において、H2タンクエリアB3タンク水位計の故障を示す警報の発報を確認。当該水位計において繰り返し指示値が下限値を逸脱し、その後、復帰しないことを確認。現場確認の結果、当該タンク周りに漏えいがないこと、隣接タンクとの連結弁の開閉操作を行い水位に変動が無いことを確認したことから、水位計の故障と判断。今後、当該水位計の交換を実施予定。なお、水位計を交換するまでは、パトロールにて当該タンク周りに漏えいがないこと、および1日1回、隣接タンクとの連結弁の開閉操作を行い、水位に変動がないことを確認する。

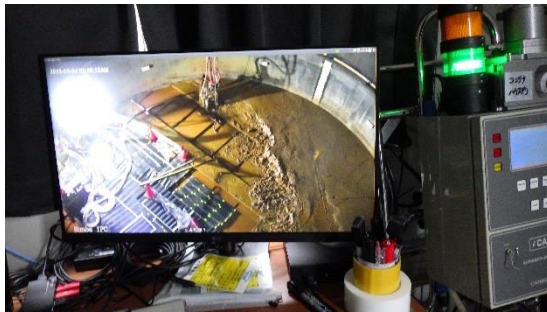
- ・タンクエリアの堰内には、深さ約3cmまで雨水が溜まっていた。(写真7)
- ・連結弁は「閉」の状態にあり、開閉操作ハンドルは許可なく操作ができないように施錠されていた。(写真8)
- ・確認した範囲では、タンク及び接続配管からの漏えい等の異常は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
フランジ型タンク外観



(写真2)
スラッジ回収作業の状況
※タンク内に設置されたカメラの
映像を確認。



(写真3)
スラッジ回収用のポリエチレン製
容器
※ハウス内に設置されたカメラの
映像を確認。



(写真4)
スラッジを収容した金属製コンテナ
を積載したトラックの状況



(写真5)
局所排風機の状況



(写真6)
H2タンクエリアの状況



(写真7)
堰内の雨水滞留状況



(写真8-1)
連結弁の状況①



(写真 8 - 2)
連結弁の状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。